

# JRC千一ム建築部の

# ～2017年 daily～

≪ 建築部部長：陳 萌 ≫

(2004年8月入社)

## 暖かい家をつくる その1



調査データによりますと、日本において一年間を通して、死亡率が最も多いのは冬場であることがわかりました。

死亡原因は循環器系、呼吸器系、神経系、血管系など色々ありますが、その裏側の原因は低温です。

昔から、徒然草では【家の作りやうは、夏をむねとすべし】と言われておりましたが、それはその時代の食品の保存、衛生条件、などの背景があって、今はそうではないのです。現在は【夏場の熱中症】が原因で亡くなる人の数は、【冬場の低温】が原因で亡くなる人の数の何十分の一に過ぎないのです。

実は欧米の一部先進国、或いは地域は既に『住宅の室内温度のアンダーラインを13℃或いは15℃以上とする』とし、下回る建物は罰則がある国もあります。

高断熱の住宅は色々な病気の改善にも有益であります。近畿大学の岩前先生のデータによりますと、高断熱高気密の住宅に引っ越した方を対象に調査をしたところ、気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎、関節炎、アレルギー性鼻炎など15の諸症状について、大半の症状は明らかな改善が見られたそうです！そして、断熱性能が高い住宅程、改善率が高くなっています。

それだけではなく、高齢者に限らず、住まいが暖かくなれば行動が活発になり、健康と深いつながりがある運動量が日常生活の中で増える傾向にあります。

そして、もう一つはカビです。カビの発生原因の多くは湿気と結露にあります。住宅の【高断熱高気密化】によって室内の温度差を少なくし、【適切な計画換気】で結露しにくくし、有害なカビを発生させないようにすることができます。(その2へ続く・・・)

色々勉強した事でますます『暖かい家』をぜひお勧めいたします。

≪ 建築部設計監理課：清水 豪 ≫

(2011年3月入社)

前回のひまわり会報季刊誌からあっという間に3か月が経ちまして10月に入りました。

この3か月間、新築現場のお引渡しもございましたがマンションのスケルトンリフォーム工事でも2件同時に行いました。



栗城邸上棟

チームJRCで力を合わせました！

マンションのスケルトンリフォーム工事は解体工事から内容がそれぞれ違うので、新築工事よりも難しく感じます。その分仕上がった後は新築の様に綺麗にオシャレに出来ていますので完成後の達成感や充実感は大きく感じます。

さて、この3ヶ月色々な現場経験を積んで充実しておりましたが、今一番難しくやり甲斐のある現場は、弊社の栗城の自宅の新築工事です。内容はZEH仕様、耐震等級3相当、低炭素住宅仕様の事務所兼長屋住宅の木造3階建てとなっております。この現場も構造現場見学会を開きますので是非一度ご覧になって下さい。

建物は私が入社して以来経験のない工法が満載です。通常JRCの建物は金物工法を用いるのですが、今回に関してはドリフトピン工法を用いて柱と梁を緊結致します。

断熱材も通常内断熱で吹き付け断熱を使用しますが、今回は内断熱を吹き付け断熱で施工し、屋根外壁に外断熱を施工して1階床部分は



床断熱ではなく基礎断熱で施工いたします。

耐震性を高めるために100本を超える筋交いに制震ダンパーを併用いたします。

社員の私が言うのもおかしいですがこの建物の構造は本当に凄く、見どころ満載だと思いますので構造見学会には是非ご足労いただけたら幸いと存じます。

≪ 建築部工務課主任：大橋 幸一 ≫

(2010年1月入社)



★昔のお風呂★



☆高断熱ユニットバス☆



☆内側に高性能窓を設置☆



☆小型洗面所暖房機☆

(ドライヤーとしても使用可能) ★昔の洗面台★

実家の水周りをリフォームしました。工事を決めた理由を両親に尋ねたところ、孫達が遊びに来た時、お風呂と洗面所が汚くて寒いので、きれいな新しいお風呂に直したいとの事。

ユニットバスは高断熱パネルを採用。温まった熱は窓から48%逃げていくので、既存の窓の内側に最新の高性能窓を設置し断熱効果を更にプラスしました。また、内窓は防音効果もあるので、父が言うには、歌をうたっても近所をあまり気にしないでいいそうです。僕の父は心臓手術をおこなったので、室内の温度差によるヒートショック(温度差による心臓への負担から突然死の大きな要因となること)が心配で洗面所に暖房機を設置しました。新しい洗面台のシャワー水栓のおかげで3歳の子供も手洗いができ、夏は水遊びをして楽しんでいます。今では実家で孫達が遊びにくると言うよりお泊り会の会場になり両親も楽しい思い出ができると思います。

JRCでは最新の新築住宅ZEHだけでなく水周りのリフォーム工事も得意なので、ご興味あるお客様は、大橋にお声かけいただければ幸いです！



☆シャワー付洗面台☆

≪ 建築部工務課：藤原マリクシ 和 ≫

(2014年9月入社)



夏が終わって少しずつ寒くなってきましたね。

先月の27日に23歳になりました。10代の時は20代ってすごい大人だな、と思っていましたが今はまだまだ自分は子供だな、と思っています。

でも最近はどう子供みたいな遊びや考え方を止めようかなと思うようになりました。

仕事も慣れてきて、これからは今まで教えてもらった事を忘れずに、新しい事も勉強していきたいです。

今年のお盆休みに3年ぶりに母国フィリピンに行ってきました。

久しぶりの母国には衝撃を受けました！昔はホームレスも多く、屋台が道にいっぱいありましたが、今はもうなくなりました。道路が全部禁煙になっていて、吸っているのがばれたら、かなりの額の罰金を払わないといけなくなりました。

いろいろ変わりましたが、やっぱり変わらないものもありました！やっぱり【フィリピンが好きって気持ち】と【家族の絆】は変わらないと、フィリピンで親戚などファミリーと接していて思いました！

自分は、いつフィリピンに帰っても居場所がある、って言う甘えが昔からあって、いつも中途半端な事ばかりやっていました。「高校に入れなかったら帰ればいい」とか「就職できなかったら帰ればいい」とか思っていました。

今はJRCに入社して考え方が変わりました。日本で成功して、家族がいつでも遊びに来られるように頑張りたいと思います。

そして日本に家を建て、遊びに来た親戚に『冬は暖かく夏は涼しい、電気代もかからない、地震に強いよ』って日本の家を自慢したいです！

私の目標は20代で家を建てる事です。ぜひ応援とお手伝いをお願いします。